2021年度 受賞作品集

今、あなたに贈りたい

漢字コンテスト

漢検 公益財団法人 日本漢字能力検定協会

S0063.22.4

大切なあなたへ

ほんの一文字に、ぎゅっと気持ちを込めて。

「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」とは

家族や恋人、友人や恩人、そして自分自身にあてて…
日頃は言えない素直な気持ちを、漢字一字に託して贈ってみよう。

（公財）日本漢字能力検定協会では、このような趣旨で「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」を2013年に初めて開催しました。

以来毎年の開催を経て今回で9回目を迎え、累計では約34万作品のご応募を全国よりいただいています。

“誰かに贈る漢字を選ぶ”その時間は、自分自身や周囲の人々を見つめ直し、自分の素直な気持ちと向き合うことにつながります。

そうして贈った・贈られた「漢字一字」は、かけがえのない一字として心に刻まれるでしょう。

＼ WEB でも作品をご覧になれます！ ／

漢検　漢字コンテスト　検索

審査員

審査員長

橋本五郎　（読売新聞特別編集委員）

審査員

ゴルゴ松本（お笑い芸人）
やすみりえ（川柳作家）
華雪　（書家）
山崎信夫　（公益財団法人 日本漢字能力検定協会 代表理事）

※所属はコンテスト開催当時のものです。

発行にあたり

当協会は、「日本語・漢字を学ぶ楽しさを提供し、豊かな社会の実現に貢献する」ことを目的に、「日本漢字能力検定（漢検）」や「文章読解・作成能力検定（文章検）」をはじめとした検定事業や漢字文化に関する調査・研究活動、京都・清水寺で年末に行う「今年の漢字」や京都・祇園における「漢検 漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）」の運営といった普及・啓発活動を行っております。

本コンテストは、東日本大震災の年の「今年の漢字」に圧倒的な応募数で「絆」が選ばれたことから、「漢字がつなぐ絆」をテーマに２０１３年より開催し、本年で９回目を迎えました。「漢字 一 字で気持ちを伝える」ことを通して、漢字への興味を喚起していただくとともに、人と人をつなぐ言葉の大切さを見直していただきたいという思いで実施しております。

新型コロナウイルス感染症が蔓延し、窮屈な生活を強いられて２年となります。昨年４万７千を越える応募があり過去最多でしたが、本年はさらに多い５万１２３１作品が寄せられました。

未知のウイルスは、私たちの生活を一変させました。「コロナ禍」とか「新常態」「新しい生活様式」という耳慣れない言葉が生まれ、「リモートワーク」、「リモート授業」、はたまた「リモート帰省」なるものまで生まれました。人と人が場所や時間の制約なく、

ＩＴ機器によって交流できるという一定の良さはありますが、液晶の画面越しではなく、生身の人間同士の五感を通じた温もりある交流が、そろそろ許されないものかと思います。

こうしたコロナ禍にあって、会いたくても会えない切なさ、普段なかなか会えない人への思いや、家族といる時間が長く、改めて家族を見つめ直したり、自分を見つめ直したりして、漢字一字に、ぎゅっと気持ちを込めた作品が散見され、それらすべてが、どれも心を打つ大変すばらしいものでした。

本コンテストの趣旨にご賛同いただき、これほど多くの作品をお寄せいただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

審査員による審査の結果、それぞれの部門で受賞された方々にはお祝い申し上げますとともに、不遜にも審査に加わった者として、選外となってしまった多くの作者の皆さまには、衷心よりお詫び申し上げます。

この作品集には、受賞作および佳作の、計60作品を掲載しております。受賞者の皆さまの思いがこもった、印象深く素敵な「漢字一字」とメッセージをどうぞご覧ください。

なお、２０２２年度は10回目として本コンテストを開催いたしますので、この作品集を手に取られた皆さまにおかれましても、漢字の持つすばらしさを再認識する機会として、ぜひともご参加賜れば幸いです。

公益財団法人 日本漢字能力検定協会
代表理事　山崎 信夫

総評

今回の応募は前年と比べて3000件も増え、5万1231件に上りました。しかも応募者は、あらゆる世代を覆っています。何より嬉しく思うのは、皆さんが選んだ漢字のランキングの上位を「感」と「謝」が占めていることです。長引く新型コロナウイルス禍は、穏やかでそれなりに満ち足りた日常を根底から脅かしています。

しかし、非日常の毎日だからこそ、人の絆の大切さに改めて思い至り、他者への感謝の気持ちが強くなっているように思います。今回の「感」と「謝」の多さはその証しなのであり、そこにある種の「光明」があります。ランキング上位に「笑」「楽」「愛」「優」「幸」「友」「夢」などプラス・イメージの漢字が入っているのも救われます。辛く厳しい日々であっても前向きに明るく生きようとしていることが分かるからです。

審査員長　橋本五郎
（読売新聞特別編集委員）

目次

小学生部門受賞者

【絆大賞】

中陽真理さん……P12
（和歌山県・紀美野町立野上小学校　7歳）

【日本漢字能力検定協会賞】

竹本柑太さん……P14
（千葉県・松戸市立小金小学校　8歳）

【審査員賞】

森俊介さん……P16
（埼玉県・川口市立戸塚北小学校　9歳）

市川颯人さん……P18
（宮城県・大和町立宮床小学校　10歳）

森脇奨さん……P20
（東京都・板橋区立徳丸小学校　11歳）

【佳作】

宇佐美斗逢さん……P22
（埼玉県・春日部市立八木崎小学校　8歳）

岡本心暖さん……P22
（滋賀県・彦根市立城南小学校　9歳）

佐々木蓮介さん……P22
（東京都・江東区立第五大島小学校　8歳）

※掲載の都道府県、学校名、年齢、職業は応募当時のものです。
※基本的には応募作品の原文をそのまま掲載しておりますが、一部修正を加えている箇所がございます。ご了承ください。

塩川 玲空翔 さん……P23
（千葉県・松戸市立南部小学校　8歳）

鈴木 菜乃夏 さん……P23
（静岡県・磐田市立長野小学校　10歳）

福田 莉那 さん……P23
（東京都・白百合学園小学校　12歳）

松山 淳之介 さん……P24
（千葉県・松戸市立北部小学校　11歳）

間山 元喜 さん……P24
（青森県・青森市立高田小学校　12歳）

山崎 美紗子 さん……P24
（石川県・金沢市立西小学校　11歳）

山下 浩士朗 さん……P25
（香川県・香川大学教育学部附属高松小学校　7歳）

中学生・高校生部門受賞者

【絆大賞】

瀬田 夕凪 さん……P28
（神奈川県・湘南白百合学園中学高等学校　13歳）

小野寺 龍信 さん……P30
（東京都・東京都立新島高等学校　17歳）

【日本漢字能力検定協会賞】

杉原 翼 さん……P32
（京都府・進学塾ひかり塾　14歳）

森川 怜美 さん……P34
（神奈川県・聖園女学院高等学校　18歳）

【審査員賞】

尾崎 彰伸 さん……P36
（東京都・目黒日本大学中学校　13歳）

吉本 渚 さん……P38
（高知県・いの町立伊野南中学校　14歳）

森 明日香 さん……P40
（福岡県・福岡市立下山門中学校　16歳）

森 愛咲 さん……P42
（愛媛県・済美高等学校　16歳）

森田 空 さん……P44
（神奈川県・東海大学付属相模高等学校　17歳）

小田桐 幸菜 さん……P46
（神奈川県・東海大学付属相模高等学校　18歳）

【佳作】

井上 成 さん……P48
（長野県・御代田町立御代田中学校　12歳）

斉藤 礼 さん……P48
（熊本県・熊本市立出水中学校　14歳）

眞田 しおり さん……P48
（東京都・八王子市立第五中学校　13歳）

鈴木 快 さん……P49
（東京都・国分寺市立第三中学校　14歳）

関 悠惺 さん……P49
（北海道・北海道教育大学附属函館中学校　15歳）

中井 史寿 さん……P49
（大阪府・大阪市立天満中学校　14歳）

花田 美優 さん……P50
（北海道・北海道教育大学附属函館中学校　14歳）

福永 伊智子 さん……P50
（神奈川県・川崎市立塚越中学校　13歳）

細谷 結菜 さん……P50
（静岡県・裾野市立東中学校　13歳）

宮里 芽依 さん（沖縄県・那覇市立寄宮中学校　14歳）……P51
安陪 充貴 さん（岡山県・岡山県立岡山支援学校　16歳）……P51
國見 砂星 さん（大阪府・大阪市立汎愛高等学校　16歳）……P51
熊井 心紘 さん（長野県・長野県中野西高等学校　17歳）……P52
熊﨑 彩乃 さん（和歌山県・和歌山市立和歌山高等学校　17歳）……P52
熊手 くるみ さん（広島県・岡山龍谷高等学校　15歳）……P52
小林 玲 さん（東京都・杉並学院高等学校　15歳）……P53
武田 永幸 さん（千葉県・千葉県立船橋法典高等学校　17歳）……P53
中村 優希 さん（熊本県・熊本信愛女学院高等学校　16歳）……P53
バラヒル エライシャ さん（東京都・東京都立一橋高等学校　18歳）……P54
焼山 美羽 さん（千葉県・開智日本橋学園高等学校　17歳）……P54

大学生・一般部門受賞者

【絆大賞】
山平 妙子 さん（山口県・教員）……P56

【日本漢字能力検定協会賞】
見澤 富子 さん（埼玉県・主婦）……P58

【審査員賞】
岩中 幹夫 さん（岡山県・公務員）……P60
小松崎 潤 さん（東京都・会社員）……P62
佐藤 美海 さん（埼玉県・教員）……P64

【佳作】
井上 浩子 さん（山口県・主婦）……P66
今北 亜希子 さん（兵庫県）……P66
小串 真紀子 さん（愛知県・自営業）……P66
中井 朗 さん（福岡県・教員）……P67
中川 祥 さん（滋賀県・教員）……P67
中村 聖 さん（福岡県・教員）……P67
松田 弘恵 さん（岩手県・教員）……P68
峯田 泰彦 さん（東京都）……P68
村形 舞香 さん（宮城県・教員）……P68
吉野 百音 さん（北海道・教員）……P69

小学生部門受賞者

絆大賞

中陽真理さん

（和歌山県・紀美野町立野上小学校７歳）

おかあさんへ　ひまり より

この漢字をあなたに贈ります。

わたしは、まい日お
かあさんに「好き」
と言います。すると
おかあさんは、かれ
しそうにわらいます。けれど、
まだ好きという かん字を知りま
せん。今日は、教えてもらって、
れんしゅうをしました。まだ、上
手に書けないけれど、つぎは手
がみで好きをおくります。

受賞コメント

わたしは、かん字のべん強が好きです。
けれど、作文を書くことがにが手です。
がんばったら、上手に書けたのでかん字コンテストに出しました。
先生から、しょうのお知らせを聞いてびっくりして、うれしくてなきそうになりました。
好きというかん字が書けるようになってから、じいじとばあば、友だちにたくさんの「好き」を手紙でおくっています。
これからも書きつづけていきます。
えらんでくれてありがとうございました。

審査員からのコメント

私には、ひまりちゃんがお母さんに手をひかれながら、お母さんの耳元にかおをよせ、そっと「好き」とささやいている声がきこえてきます。お母さんは、ひまりちゃんの「好き」をきくたびに、しあわせな気分になり、一日のくろうやつかれがふきとぶにちがいありません。時にはお母さんのおかおに「チュッ」をしてあげながら言うのもいいかもしれませんね（笑）。人を「好き」になることはとても大切なことです。「好き」になるということは、その人の一番いいところを見ているからです。これから「好き」な人をいっぱいふやしていったらいいですね。（橋本五郎）

日本漢字能力検定協会賞

竹本　柑太さん

（千葉県・松戸市立小金小学校８歳）

妹へ

かんた より

この漢字をあなたに贈ります。

丸

妹は顔が丸くてとても かわいいです。でもすぐにおこってないてぼくをたたいたりします。もう少しせいかくが丸くなるといいと思います。でもいっしょにいるととても楽しいです。ぼくにとっては妹は花丸をあげたい人です。

受賞コメント

ぼくが夏休みに書いた漢字コンテストの作文が賞をとるとは思っていなかったのでとってもおどろきました。そしてとてもうれしく思いました。

妹はかわらずたたいたりします。でもあの作文を書けたのは妹がいたからなのでけんかもたくさんするけど、妹がいて幸せです。

この賞をとったおかげで丸いお顔のおこりんぼうの妹はぼくの自まんの妹になりました。

もう少しやさしくなってほしいけどせいかくが丸くない今のままの妹でもぼくはじゅう分大すきです。

審査員からのコメント

「顔が丸く」「性格が丸くなる」「花丸をあげたい」。

短い文章の中に、「丸」を使った表現が、3つも入っています。それらが文章全体の印象や雰囲気にとても良い味を出しています。

かんたくんが幼い妹さんと仲良く遊んでいたり、怒ったり、泣いたり、時にはお母さんに怒られて、おろおろしたりなどしているかもしれないという日常の何気ない情景が目に浮かぶようです。小学生とは思えぬ表現力だと感心しました。

かんたくんにとっても、妹さんにとっても、お互いが、大切でかけがえのない存在だという思いが伝わる作品で、心が温まりました。（山崎信夫）

審査員賞

森　俊介さん

（埼玉県・川口市立戸塚北小学校９歳）

お父さん へ

この漢字をあなたに贈ります。

体

コロナで、どこにも行けない時に、にわでサッカーをしたぼくとお父さん。

「オーバーヘッドキックをやって見せて。」とたのんだら、やってくれたが、あばら骨を四本おってしまったお父さん。

大好きだから、体、大切にしてね、お父さん。

俊介 より

受賞コメント

「漢検に選ばれる」という、とても名誉な賞をいただき、ありがとうございました。

選ばれたと聞いた時は、すごくうれしかったです。

お父さんがサッカーでオーバーヘッドキックをして、あばら骨を四本折ったことを書いて選ばれたので、骨が名誉な賞に変わったため、お父さんも喜んでいると思います。

ぼくも、あばら骨が折れているお父さんを毎日起こす苦労をした作業が賞に変わったと思うと、うれしいです。

ぼくのを選んでくれて、ありがとうございました。とてもうれしいです。

審査員からのコメント

俊介くん、お父さんというのは（お母さんもそうですが）、子どものためなら何でもやろうとするものなのです。ちょっとオーバーかもしれませんが、「たとえ火の中、水の中」という言葉があるでしょう。子どものためなら火の中でも水の中でも飛びこむのです。お父さんは、おそらく日ごろやっていないオーバーヘッドキックだったんだけど、俊介くんのねがいをかなえようと無理したんでしょうね。おとうさんの気持ちは痛いほどよくわかります。そして、これまでよりいっそうお父さんの体のことを心配するようになった俊介くんの気持ちもよくわかります。（橋本五郎）

審査員賞

市川　颯人さん

（宮城県・大和町立宮床小学校 10歳）

先生へ

颯人より

この漢字をあなたに贈ります。

「おしい！」先生の声。「むずかしい漢字なのに、よくここまで書けたね。すごいよ、はやちゃん」。ふしぎだなあ。まちがえたのに、ほめられちゃった。まちがえたのに、なんかうれしい。観察の「観」今までで一番画数が多いけど、一番わすれない字になりそう。

受賞コメント

ぼくは、宮城県の宮床小学校のつくし学級の四年生です。つくし学級は、ゆっくり、じっくり勉強するクラスです。つくし学級は、ぼく一人ですが、ぼくは勉強をとてもがんばっています。

特に、漢字は毎日がんばっています。漢字のドリルを書いたり、カードを読んだりしています。一年生の時よりたくさん漢字が書けるようになって楽しくなってきました。

観察の「観」の字は、本当に難しい字でした。何回も練習しました。何回練習しても、まちがえてしまいました。でも、「おしい！」「すごいよ、はやちゃん」と先生に言われて、書けるまでがんばりました。「観」の字が書けるようになってうれしいです。これからも、漢字の勉強をがんばりたいです。

審査員からのコメント

はやちゃんはとってもいい先生におそわっていますね。だれでもさいしょは漢字を知らないし、書けないのです。でも書けるようにどりょくすることがたいせつなのです。たとえまちがえたとしても、はやちゃんがむずかしい漢字を書けるようにいっしょうけんめいどりょくしていることをほめたのでしょうね。なんでもそうなんですよ。「挑戦」することが大事なのです。書き出しの「おしい！」もとってもいいですよ。ぶんしょうを書くときに大切なのは、書き出しなんです。このひとことで、私にはこの時の光景がうかんできます。

（橋本五郎）

審査員賞

森脇　奨さん

（東京都・板橋区立徳丸小学校 11歳）

自分へ

この漢字をあなたに贈ります。

独

日曜日、独りでゴロゴロしていることが好きです。だれにも何も言われずに、ぼーっと何も考えずに時間が経っていきます。独りぼっちでもさびしくないです。こんな時間は、たまにしかないからです。子どもでも、けっこう忙しくてたいへんなのです。

自分より

受賞コメント

今回は、すばらしい賞を受賞することができて、とてもおどろきました。

信じられなかったけどとてもうれしいです。

「独」という漢字は、お母さんは少しさみしい字だねと言いました。

だけど、ぼくは独りの留守番の時間が好きです。コロナで留守番の日が増えて、はじめはさみしい時もあったけれど、今、学校や塾もはじまって子どもだって忙しいのです。もちろん友達や家族みんなと一緒に過ごすのも楽しいです。でもたまに独りでごろごろできるとうれしいです。

大人も子どもも休けいは大切です。

審査員からのコメント

何ごとにもいっしょうけんめい取り組んでいるからこそ、つかの間の「独り」がかけがえのない時間になるんですね。学校の勉強いがいにも、塾や運動クラブなどで忙しくしているのかな。そして自分自身で「独りぼっち」の時間をつくっているからこそ、ほかのことに一生懸命になれるんだとおもいます。おじさん（おじいさんかな）は「大人は忙しい」と思っていました。でもこれからはその考え方を変えました。「子どもでも、けっこう忙しくてたいへんなのです」というひょうげんには実感がこもっています。とてもいい結びです。

（橋本五郎）

宇佐美 斗逢さん

（埼玉県・春日部市立八木崎小学校 8歳）

【贈りたい相手】
大好きなばーば

【贈り主】
斗逢

いつもイスがわりにしてごめんなさい。赤ちゃんの時安心してばーばの上でねちゃっていたみたいです。だからかな、今でもひざの上が大好きでごはん食べる時も、テレビ見る時も、座っちゃってるけどきっとおもたいのにいやがらず座らせてくれてありがとう。

岡本 心暖さん

（滋賀県・彦根市立城南小学校 9歳）

【贈りたい相手】
漢字

【贈り主】
心暖

今もきみが大のにがて。でも、お母さんに「漢字がなかったら心暖の名前は平が名のこはるやな。」と言われて気づいた。それはいや。漢字がないと心が暖かいという大すきなわたしの名前の由来がきえてしまう。だから、やっぱりこれからもきみとむき合っていくね。

佐々木 蓮介さん

（東京都・江東区立第五大島小学校 8歳）

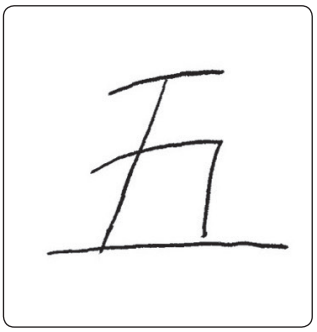
【贈りたい相手】
まあやちゃん

【贈り主】
蓮介

まい年夏になると一しょに旅行に行く、友達のまあやちゃん。この2年会えてないから、ぼくの名前の蓮という字をおくります。蓮の花は見えないねっこのぶ分がしっかりつながっているそうです。だから会えなくても心はつながっているよといういみでおくります。

塩川 玲空翔さん

（千葉県・松戸市立南部小学校 8歳）



【贈りたい相手】
きょうだい

【贈り主】
りくと

れいじゅはぼくのヒーロー。かりなはスポーツばんのう。ゆいなはいつもやさしい、2人ともじまんのお姉ちゃん。れおまはいつもぼくについてくる、大事な弟。ぼくは5人きょうだいでよかった。

鈴木 菜乃夏さん

（静岡県・磐田市立長野小学校 10歳）

【贈りたい相手】
ピアノの先生

【贈り主】
菜乃夏

先生、今度の発表会の曲、難しすぎます。音の上がり下がりがはげしくていやになりました。そしたら、「この曲難しいから、これくらいでいいよ。」って先生が言うから、私の心に火がつきました。毎日練習して発表会の時には、「こんなのかんたん。」ってひきます。

福田 莉那さん

（東京都・白百合学園小学校 12歳）

【贈りたい相手】
お母さん

【贈り主】
りな

「あぁ。また間違えちゃった。」私が何回お点前を間違えてもお母さんは根気強く教えてくれるね。お母さんが「シャカッ」と音を立てて混ぜたり、「チョロチョロ」と水を釜に落とす音、ふるまい方にあこがれたんだ。私もお母さんのようになるから、応援してね！

松山 淳之介 さん

（千葉県・松戸市立北部小学校 11歳）

【贈りたい相手】
お母さん

【贈り主】
松山淳之介

この漢字は「えび」と読みます。鰕のすばらしさを知っていますか。まず安いです。そして体にいいです。その効果は疲労回復、すいみんの質の向上、ビタミンE千倍、つまり肌が若々しくなりますし、脳の活性化をうながします。僕の好物の鰕をお買いあげください。

間山 元喜 さん

（青森県・青森市立高田小学校 12歳）

【贈りたい相手】
ばあちゃん

【贈り主】
元喜

ばあちゃんの家から引っこしして、ばあちゃんと一緒にいる時間が少なくなって少しさみしいけど、ぼくは、家出がしゅみだからいつでも会いに行くね。大好きなばあちゃん。ばあちゃんの家に行ったら、ばあちゃんのごはんを食べて、一つのふとんで一緒にねようね。

山崎 美紗子 さん

（石川県・金沢市立西小学校 11歳）

【贈りたい相手】
母

【贈り主】
美紗子

「今日は何のモノマネをしよう？」私はモノマネが得意。最近、母に病気が見つかり手術をして、その後も治療が続いている。そんな母を笑わせたくて、毎日何か面白いことができないか考えている。今日も私はモノマネをする。笑いのパワーで病気に勝てるように。

山下 浩士朗さん

（香川県・香川大学教育学部附属高松小学校7歳）

【贈りたい相手】

おとうさん

【贈り主】

こうしろう

金は、おたからの金。ぼくは、おとうさんのたからもの。金は、おりがみの金。かみひこうきをおって、のってあいにいきたいな。金は、金よう日の金。一しゅうかん、おつかれさま。とおくでおしごとをがんばるおとうさんに、金メダルを。

中学生・高校生部門受賞者

瀬田　夕凪さん

（神奈川県・湘南白百合学園中学高等学校 13歳）

高校生の私へ

中学生の私より

この漢字をあなたに贈ります。

券

13歳の私にもワクチン接種券が届いた。

不安が大きく、なかなか一歩を踏み出せない。未来の私、教えてほしい。

マスクを外して大きな声で笑えていますか？お盆におばあちゃんの手料理をみんなで一緒に食べましたか？そんな未来行きの券だと、教えてほしい。

受賞コメント

現代では手紙を送ることが少なくなったり、漢字を書けない若者が多いと不安視されています。

それでもスマホで遠く離れて住んでいる祖父母に「元気？」や「荷物ありがとう」と直接会えない間も、電子で送る言葉のおかげで心の距離はいつも近いままでした。

コロナ禍での新しい生活、電子機器がコミュニケーションツールになっている現代、その中でも言葉は新しい形で私たちを繋いでくれています。

私たちも言葉と共にコロナ禍を乗り越え、未来で待つおばあちゃんの手料理を楽しみに一つ一つ出来ることをしていこうと思います。

最後になりましたが、今回の賞をいただき、なりたい未来の私に一歩近付けた気がします。

本当にありがとうございました。

審査員からのコメント

コロナ禍において、日本だけでなく世界中の人々が戸惑い、迷い、悩む日々が続いています。そうした日常の中で感じた素直な思いを、この「券」という一字に託した作者。

感受性豊かな人なのでしょう、不安に包まれながらさまざまなことを想像されている姿が伝わってきました。「券」はそもそも割符や手形の意味を持ちますから、「約束」という意味合いも感じられます。混乱の中で、見えない未来へ進んでいくしかない私たち。この内容は多くの人の気持ちを代弁するものでもありました。

（やすみりえ）

小野寺　龍信さん

（東京都・東京都立新島高等学校 17 歳）

未来の自分へ　今の自分より

この漢字をあなたに贈ります。

揺

船の揺れは落ち着く。飛行機の揺れは少し怖い。波に揺られると心地いい。心が揺らぐと落ち着けない。世間の揺れは不安を生む。大地の揺れは恐ろしい。でも、ゆらゆらした生き方は気持ちがいい。余裕を失くしたら、故郷の海の揺らぎを思い出してみてください。

受賞コメント

私は島で生まれ、海で育ちました。そのため、海のいい所を幾つも知っています。中でも、仰向けになって浮かんで、波に揺蕩うことが好きです。そうしていると、波の音や人の声が少し遠くなり、海と一つになるような気分になれます。この作品は、その揺らぎの心地よさを思い浮かべながら書きました。このコメントを読んだ全ての人にも、その心地よい揺らぎを味わってもらいたいと思います。最後に審査員の皆様、数多ある作品の中から私の作品を栄えある賞に選んでいただき、誠にありがとうございます。

審査員からのコメント

「揺」の字のなりたちを字典で調べると、祈るときの行為であるらしいと記されていました。

小野寺さんの文章を読みながら、審査員それぞれにかつて経験した色々な「揺れ」を頭に思い浮かべていたように思います。

文章を最後まで読み、小野寺さんが島に暮らされていること、海に、船の揺れに親しんでおられるからこそ「揺れ」にまつわる様々な体験をとても細やかに感じていらっしゃるのだと腑に落ちました。そして、小野寺さんの文章から、「揺れ」の心地よさを自分の記憶の中にも探したくなりました。

未来の自分へと書かれたこのメッセージは、多くの人にとっても優しく励まされる素晴らしいメッセージであるように思います。

心地よい揺れに包まれるような日々を、どうぞ周りの人とも分け合いながら、これからの時間を過ごしていってほしい。そんな思いを込めて、絆大賞を贈ります。

（華雪）

杉原　翼さん

（京都府・進学塾ひかり塾 14歳）

母へ

私より

この漢字をあなたに贈ります。

強

母は、看護師でコロナ患者の担当をしている。今、担当をしたいという人は少ないだろう。しかし、母は自分のリスクよりも目の前にいる患者さんのために動いている。母は「コロナは怖い。けど、私達が助けないと」と言った。すごいと思った。私も強くなりたい。

受賞コメント

私が、母に贈る漢字を「強」にした理由は看護師としての責任感が強く、患者さんを第一に考えていること、そして、私が落ち込んでいた時には、母持ち前のポジティブさで、私を元気にしてくれたことから、この漢字を母に贈りました。

受賞を知った時はとても嬉しかったです。母も喜んでくれました。

素敵な賞を頂き本当にありがとうございます。

審査員からのコメント

この作品に「仕事」「働く」という言葉は使われていません。「仕事なんだから、働かなければ」という固定観念というか、消極的な仕事観は感じられません。

看護師として、自分のリスクより目の前の患者さんを助けるために、とにかく動き、使命感にあふれ、パワフルで「強」いお母さん像が伝わってきます。

「母は強し」。

杉原さんにとって人生のお手本なのでしょう。

新型コロナウイルス感染症から命を守る最前線で奮闘いただいている医療従事者の方々には、本当に頭が下がり、感謝という言葉しか浮かびません。

他人ではありますが、私からも「お母さん、ありがとう」と言わせていただきます。（山崎信夫）

森川　怜美さん

（神奈川県・聖園女学院高等学校 18 歳）

手紙へ

私より

この漢字をあなたに贈ります。

紡

「HAPPY BIRTHDAY!」脳梗塞の後遺症で脳の障害や運動麻痺のある父から手紙が届いた。一画一画、手を震わせて書いたと分かるインクの濃淡や誕生日を覚えていたこと全てに涙が溢れた。途切れかけていた言葉の糸を紡いでくれた手紙へ、ありがとう。

受賞コメント

この度は、輝かしい賞を頂戴し、とても光栄に思います。

私が一番心を揺さぶられたのは父が私の誕生日を祝ってくれたことではなく、完璧ではない字で「手紙」を送ってくれたことです。小さい綺麗なカードにＨＡＰＰＹ　ＢＩＲＴＨＤＡＹ！とだけ書かれていました。

短くもあり、長くもある、私にとってはとても意味ある父らしい文でした。

「紡ぐ」という言葉は、糸を作ることなどに使われることが多いと思いますが、ここでは貴重で、形は様々なものを「一つにする」という意味で使いました。

今は離れて暮らしていますが、言葉や文字から引き出された父と私の間を結ぶ想いの糸がどこまでもいつまでも切れることなく繋がっていて欲しいと願っています。

審査員からのコメント

「途切れかけていた言葉の糸を紡いでくれた手紙」。歌にでてくるような、哀感に溢れた素晴らしい表現です。

お父さんは、脳梗塞によって、言葉が不自由になってしまったのでしょう。森川さんはまだまだお父さんといっぱい話したいという思いを抱えながら、半分諦めていたことでしょう。

そんな森川さんの誕生日に、お父さんから手紙が…。手を震わせながら、時間をかけて、必死に書いたとわかる文字。お父さんの愛情が手書きの文字に表れていたことでしょう。

「書は心画なり（書心画也）」。

ＩＴ機器全盛の時代ですが、気持ちがより伝わるのは、やはり手書きの文だと改めて気づかされる作品でした。手書き文化を大切に守りたいものです。

森川さん、お父さんと言葉の糸をますます太く「紡」いでいってくださいね。（山崎信夫）

尾崎　彰伸さん

（東京都・目黒日本大学中学校 13 歳）

震災の時に出会った同い年の子へ

彰伸より

この漢字をあなたに贈ります。

支

今年で東日本大震災から十年経った。震災の当日、僕は宮城県にいて津波の被害を受け避難していた。隣に寒そうにしていた子がいたので二着持っていた上着をあげて今でも感謝の手紙をもらったりしています。震災は残酷だが人と人が支えて生きるのを知れた。

受賞コメント

担任の先生に受賞したことを伝えられた時、5秒ほど思考が止まるほど驚き、そのあと今までにないほどの喜びをかみしめ、友人達も一緒に喜んでくれたのがとてもうれしかったです。

東日本大震災から10年が経ち僕は中学生になれました。

“早く逃げろ”と声をかけてくれた消防士さん、水をわけてくれたおじさん、おかゆやおにぎりを作ってくれた人、日本のどこからかわからないけど毛布を送ってくれた人、たくさんの人々にぼくは支えてもらいました。

そして、これからは自分には何が出来るのか考えたいです。

審査員からのコメント

実体験だからこその言葉に、審査員一同思わず涙がこぼれました。「支」は、竹や木の枝を手にしている形から成り立っているとか。そこから「ささえる、枝を払う」という意味を伝えているんですね。さらにもうひとつこの漢字は「分ける」という意味も持ち合わせていて、寒さの中で上着を分けたエピソードと奇しくも重なっています。今も手紙のやりとりがあるとのこと、人と人の繋がりは何よりの心の支えだと改めて感じさせてくれた作品でした。（やすみりえ）

吉本　渚さん

（高知県・いの町立伊野南中学校 14 歳）

お母さん へ

娘 より

この漢字をあなたに贈ります。

鏡

おばあちゃんが言った。「なぎちゃんのお母さんは母親失格だね」と。でも、私はそうは思わない。いつも寝る前にハグをしてくれるし、毎日愛してるの言葉をくれる人が母親失格な訳がない。むしろ母親の鏡のような人だ。だから私はお母さんに鏡の字を贈ります。

受賞コメント

受賞を聞いたとき、会場となる場所を知るまでは、ただ「そうなんだ」としか思いませんでした。私はてっきり県内だけの話かと思っていたので、会場が京都だと聞いてとても驚きました。しかし、私の伝えたい想いが審査員の皆さんの心に響いたのだと実感することができ、とても嬉しかったのと、こんな私でいいのか、他の人の素晴らしい作品の中に私のものがあってもいいのか不安になりました。なぜなら、私が漢字コンテストに出品を決めたのは、副賞がもらえたら嬉しいな、という私欲からでした。でも、母への伝えたいこと、贈りたい漢字へ込めた想いは、誰の作品にも負けない自信があります。今は入院している母ですが、入院してからも母は母親の鏡のような人で、変わらず愛を注いでくれます。そんな母に、少しでも感謝の気持ちを伝えられれば、と書いた作品です。不純な理由から出品した作品ですが、審査員賞という素晴らしい賞をいただくことができて本当に嬉しく思います。ありがとうございました。

審査員からのコメント

それぞれの立場や世代によって、価値観はさまざま。祖母、母、娘…物事の感じ方は違って当たり前なのでしょう。そう分かっていながらも、毎日の生活の中でうまく噛み合わない時の歯がゆさや苛立ち、私も多々味わったことがあります。作者は「鏡」という文字にその気持ちを収めました。「言葉で心を整理する」ってとても利口で素敵です。もしかすると祖母に贈りたい漢字もあるのではないでしょうか。そしてそれは、作者が成長を重ねるごとに違う漢字に変化していくのかもしれません。（やすみりえ）

森　明日香さん

（福岡県・福岡市立下山門中学校 16 歳）

じいちゃんへ

明日香より

「十円ちょうだい」。

って言ったら、じいちゃんは裏紙に「10

」って書いて渡してくるよね。だから私も少し仕返し。毎年この時期になると「酒ばっちくれ」と言ってくるじいちゃんに「酒」の漢字を送ります。コロナも流行ってるし、体を壊さないようほどほどに。

この漢字をあなたに贈ります。

受賞コメント

この度は、審査員賞に選んでいただき、ありがとうございます。まさか受賞するとは思っていなかったので、本当に驚きました。学校の先生方も祝福してくださいました。

祖父はお酒が大好きで、夕ごはんの際には必ずコップに注がれています。夏になると必ずかかってくる一本の電話。この年の電話がかかってきた時、すでにコンテストについて知っていた私は、あの10円の件の仕返しをしようと早くから心に決めていました。

プチ復讐の念とコロナ禍でも健康にという気持ちを１２０％つめた「酒」は、とっくに祖父の胃袋の中でしょう。

おもしろくて大好きな祖父が長生きしてくれるよう、これからも私はノンアルコールの健康な「酒」を毎年送り続けていきたいと思います。

審査員からのコメント

じいちゃんと明日香さんの楽しいやりとりが描かれていますね。そのすべてが「酒」の一文字にギュッと濃縮されたような印象です。流れる水の象形と、酒壺の象形の「酉」の組み合わせで成り立った「酒」。ちなみにこの漢字の部首は「さんずい」ではなく「とりへん」なんですね。確かに「酔」「酌」といったようにお酒にまつわる意味を表す漢字には「とりへん」が登場します。「酒」という一字をおくられたじいちゃん、ますます呑みたい気分になってしまうかもしれません（笑）。

（やすみりえ）

森　愛咲さん

（愛媛県・済美高等学校 16 歳）

おばあちゃん へ

孫 より

この漢字をあなたに贈ります。

記

私がつけていた日記に、おばあちゃんが一日だけ返事を書いてくれた。「あしたはきょうよりたのしいひになりますように」些細なことだけど私の心には、いつもいつも記憶しているよ。これからも天国から見守っていてね。明日は今日より笑顔で過ごすよ。

受賞コメント

この度は審査員賞に選んでいただき、本当にありがとうございます。

まさか受賞できるとは思っていなかったので、受賞の知らせを聞いた時は驚きました。

この作品には、天国にいるおばあちゃんへの感謝の気持ちをこめました。つらいことがあったり、落ちこんだ時にはいつも日記を通して伝えてくれたおばあちゃんの言葉に励まされています。きっと、これからもずっと、この言葉は私の記憶からは離れないんだろうなと思います。私にとって宝物です。

優しくて、常に人のことを考えて行動するおばあちゃんを私は尊敬しています。謙虚で優しいおばあちゃんのような人間になれるよう、一日一日笑顔で過ごしたいと思います。

審査員からのコメント

「記」の字は糸を整える糸巻きのかたちがなりたちにあるとされています。

短い文章からも、森さんとおばあさまとの暖かなやりとりが伝わってくるようでした。おばあさまが一日だけくださった返事のことばは、森さんの日々を整える糸巻きのようにも感じられました。

大切なことばや出来事は、存外些細であることが多い。だからこそ、心に深く小さく留まるのかもしれません。

「あしたはきょうよりたのしいひになりますように」。

今の時代、多くの人に届いてほしいことばにも思えます。大切なおばあさまとの思い出を伝えてくださった森さんの気持ちに審査員賞を贈ります。（華雪）

審査員賞

森田　空さん

（神奈川県・東海大学付属相模高等学校 17 歳）

中学一年生の時の私へ

高校三年生の今の私より

この漢字をあなたに贈ります。

今

部活動や家族間トラブルで自律神経を崩し、学校に行けない時期があった中学一年生の時の私。どう治せば良いのか分からず、焦ってばかりで辛かったよね。学校に行きたくても行けない状況がもどかしくて悔しかった。でもね、今、高校に毎日元気で通えているよ。

受賞コメント

50分という短い授業時間の中で書いた文章だったのですが、審査員の方の目に留まる内容がかけてとても嬉しく思います。作品内に書いてある中学一年生の時の私は、このような文章が書けるほどの心の余裕はなく、将来に不安を抱えながら日々過ごしていたので、過去の話として作品にできるまで元気になり良かったなと感じています。高校生になってからは普通に学校に通うことが出来ていて、来年度からは大学生になります。病気だった頃を忘れず、無駄にせず一つの大切な経験としてこれからを過ごしていきたいです。

この度はありがとうございました。

審査員からのコメント

「今」の字のなりたちは、蓋をあらわしていると字典にあります。蓋をあらわすかたちがどうして時間としての〈今〉をあらわすようになったのかについては諸説あります。蓋がぴったり合うというイメージが、この瞬間――今をあらわすようになったのかもしれません。

過去の自分を振り返り、当時を丁寧に思い返し、「今」という字を見出された森田さん。これからまた何かしんどいことがあったとしても、「今」の字とまっすぐに向き合われた森田さんはきっと乗り越えてゆかれるだろうと思います。

中学一年生の私へ贈られた高校三年生の森田さんのことばは、このコンテストに応募してくださったことで、過去の森田さんへだけでなく、これを目にした他の多くの人へも届くことばになりました。その勇気に審査員賞をお贈りします。（華雪）

小田桐　幸菜さん

（神奈川県・東海大学付属相模高等学校 18 歳）

私へ

この漢字をあなたに贈ります。

青

弱気な私に、この漢字を贈りたい。青という漢字は日がつくと「晴」になる。水がつくと「清」になる。青は何だってなれる色なのだ。私はまだ浅学で、青い。だからこそ私も何にだってなれるはずだ。高校を卒業し、新しい一歩を踏み出す私の青写真を思い描く。

私より

受賞コメント

漢字コンテストで入賞した、と聞いた時は大変驚きました。数ある作品の中で審査員賞に選んで頂けたこと、大変光栄に思います。

青は私の好きな漢字の一つです。漢字の可変性や言葉の意味が持つ面白さに魅せられたのだと思います。また、青は私の好きな色でもあります。

透き通る空や美しい海の色である青を見ていると自然と心が穏やかになるように感じます。

この「青」で賞を頂くことができ、大変嬉しく思います。

今回のコンテストで改めて漢字の奥深さに気づかされました。漢字の知識をより一層深めていきたいと思います。

審査員からのコメント

高校卒業を前に「青」の字の連想を通じて、小田桐さんが自分自身を静かに客観的に見つめていらっしゃる様子が伝わってきました。その様子は、もはや弱気ではなく、小田桐さんの新しい一歩を眼差す力強ささえ感じます。

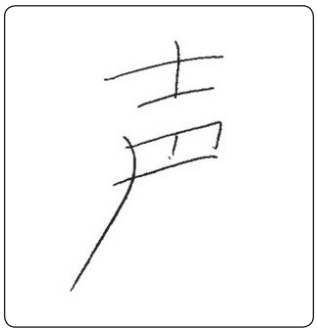
漢字が生まれた中国古代における色彩の基本は「五采（さい）」、「黒（玄）・黄・朱（赤）・白・蒼（青）」とされていました。その色彩は、単なる色の名前や色の感じとしてではなく、そこから連想されたり、その色によって象徴されるものを、色をかりて表現していると考えられてきました。これらの感覚は、のちの美術や文学にも大きく影響し、日本文化の中でもいまなお生きる感覚です。

「青」が表現しているものは、木や春とされています。

春は、植物が芽吹き、生き物が活発に動きはじめる季節です。小田桐さんの出会われた「青」が、これからの新たな日々を鮮やかに彩ってくれますように思いを込めて、審査員賞をお贈りします。（華雪）

井上 成さん

（長野県・御代田町立御代田中学校 12歳）



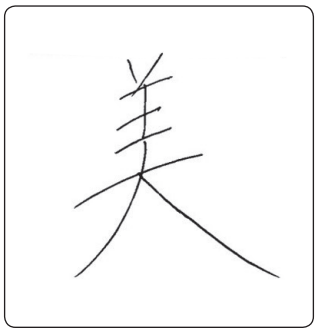
【贈りたい相手】
山本篤選手

【贈り主】
自分

パラリンピックの山本篤選手の幅跳びのジャンプを見ました。その堂々とした姿に衝撃を受け感動しました。僕は、同じジャンパーとして、コロナ禍で観客がいない中、山本選手が皆に手拍子を求める姿を見て、心の底から力いっぱい声を届けたいと思いました。

斉藤 礼さん

（熊本県・熊本市立出水中学校 14歳）



【贈りたい相手】
リボン

【贈り主】
斉藤礼

私は新体操をしている。五つの種目の中でもリボンが好きだ。きっと皆は優雅で美しいものだと思っている。その通りだ。だがその美しさの中には、筋力やハリといった力強さが必要だ。そのキツさは演技では隠す。真の美しさに向って。これからもずっとよろしくね。

眞田 しおりさん

（東京都・八王子市立第五中学校 13歳）

【贈りたい相手】
うちの庭に咲く向日葵

【贈り主】
次女のしおり

「すごい！大きい！」夏になるとうちの庭に咲いた向日葵の前で、そんな言葉が聞こえます。毎年、立派に育つので、通りかかる人に驚きと笑顔を与えます。そんな向日葵に「笑う」という意味もある「咲」を贈ります。人々の笑顔を、毎年ありがとう。

鈴木　快さん

（東京都・国分寺市立第三中学校　14歳）

【贈りたい相手】
ピアノ

【贈り主】
ぼく

ぼくは生まれつきあまり声が出ない体質だ。そのため友達があまりできず学校に行くことを諦めてしまうこともあった。しかし、ピアノに出会ってからは生活が一変した。ピアノはぼくを大きくかえてくれた。ピアノには自分の声で「ありがとう。」と言いたい。

関　悠惺さん

（北海道・北海道教育大学附属函館中学校　15歳）

【贈りたい相手】
友人

【贈り主】
惺

ご飯を買いにコンビニへ行こうとし、ドアを開けると、友人がランニングをしていた。ふと、友人が出る大会が週末だということを思い出し、ビッグカツを買ってきてやろうと走り出した。帰宅後、ビッグカツを渡しに行った。「勝てよ」という気持ちを添えて。

中井　史寿さん

（大阪府・大阪市立天満中学校　14歳）

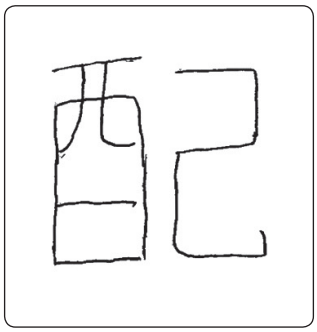
【贈りたい相手】
おとーちゃん

【贈り主】
史寿

ぼくは幼稚園の頃からおとーちゃんと二人暮らしで、おとーちゃんの手形と小さいころのぼくの手形を紙に写し取って、「男二人で頑張ろう」と書いてある物が印象に残っています。これからもぼくとおとーちゃんの男二人で頑張っていこう！

花田　美優さん

（北海道・北海道教育大学附属函館中学校　14歳）



【贈りたい相手】
お母さん

【贈り主】
美優

私は小さい時からお母さんに「目配り、気配り、心配りをちゃんとするんだよ。」と教えられてきました。そのおかげで今では視野を広くし、自分のことだけではなく周りの人のことも気にかけれるようになりました。お母さん、素敵な言葉を教えてくれてありがとう。

福永　伊智子さん

（神奈川県・川崎市立塚越中学校　13歳）

【贈りたい相手】
熊本のじいじ

【贈り主】
川崎の孫

「疒（やまいだれ）」の漢字には殆ど良い意味が無いんだけど「癒」という漢字は好きなんだ。コロナ禍で会いに行くのも我慢しているけれど、じいじが手紙や特産品を送ってくれる度に癒されているよ。何故かというと、箱を開けた途端、じいじの家の懐かしい匂いがするからね。

細谷　結菜さん

（静岡県・裾野市立東中学校　13歳）

【贈りたい相手】
母

【贈り主】
細谷結菜

私と母はとっても似ています。あせり方やあるできごとにたいしての感じ方、リアクションが同じです。最近は、私の背がのびておいついたので背格好がそっくりになりました。声も似ているので、電話をかけてきた人は、だいたい間違えます。それがうれしいです。

宮里　芽依さん

（沖縄県・那覇市立寄宮中学校　14歳）

【贈りたい相手】
おばあちゃん

【贈り主】
芽依

私はピアノを習っています。そして私のおばあちゃんは昔、音楽の先生でした。今、おばあちゃんは病気で目が見えません。私の顔もわかりません。私がおばあちゃんに届けられる精一杯の贈り物は私のピアノの音色です。感謝の気持ちを込めて私の「音」を贈ります。

安陪　充貴さん

（岡山県・岡山県立岡山支援学校　16歳）

【贈りたい相手】
高校野球選手の皆様

【贈り主】
安陪充貴

私は、夏になると甲子園高校野球の中継を楽しみに観ています。私は脳性まひで体を動かすことができませんが、選手達の一生懸命なプレーを観ていると、とても心が熱くなり感動します。今年の夏もキラキラと輝いている姿に、この漢字を贈ります。

國見　砂星さん

（大阪府・大阪市立汎愛高等学校　16歳）

【贈りたい相手】
兄

【贈り主】
妹

あなたは部活動が忙しい中必死で勉強をし、高校三年生現役で警察学校に合格しました。あなたは葉脈のような人脈や、自分が思うことを突き通すぶれない幹をかねそろえた樹木のような人です。これから沢山苦労するでしょう、十カ月後には大樹になって帰ってきてね。

熊井 心絃さん

（長野県・長野県中野西高等学校 17歳）

【贈りたい相手】
昨日の私

【贈り主】
今日の私

昨日の私は自分の手に余るほど忙しくて何事にも手荒になってしまいましたね。そんな昨日の私には猫の手でも貸したいですが、そんなものを貸してもどうしようもないので、とりあえず自分の手で手当たり次第頑張った昨日の自分に今日の私から拍手を贈ります。

熊﨑 彩乃さん

（和歌山県・和歌山市立和歌山高等学校 17歳）

【贈りたい相手】
弟

【贈り主】
姉

学校に行けていない今の日常から本気で抜け出したいなと思ったなら、どんな些細なことでもいいから昨日とは違う行動をとってみてほしい。その一歩は思っているよりも大きく、自信に繋がると思う。一歩一歩を大切にしていたら、気づけばゴールは見えてるはず。

熊手 くるみさん

（広島県・岡山龍谷高等学校 15歳）

【贈りたい相手】
好きな人

【贈り主】
私

あなたとは高校に入って出会いました。第一印象は「すごい大人しそう」です。話してみたくて、LINEを交換しました。そしたら想像していたよりもおもしろくてその日から、全てがかわいく感じるようになりました。塩対応で脈ナシだけど片想い頑張ります。

小林　玲さん

（東京都・杉並学院高等学校　15歳）

【贈りたい相手】

監督

【贈り主】

玲

ある大会で3位になった時悔しいあまりその競技を辞めそうになるくらい落ち込んでしまいました。そしたら監督が銅は金と同じと書くから自信持って次頑張りなさい。と言ってくれてそのおかげで立ち直ることができました。ありがとうございました。

武田　永幸さん

（千葉県・千葉県立船橋法典高等学校　17歳）

【贈りたい相手】

妹

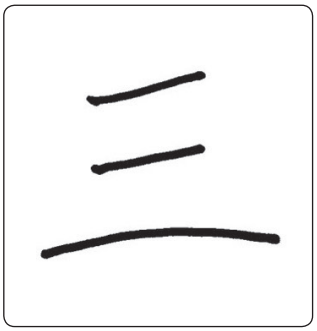
【贈り主】

兄

一番下の妹はやっと一年生になりました。まだ幼くて可愛いので、沢山甘やかしてしまいます。今はまだ僕と仲良くしてくれているけれど、どんどん育っていってそのうち可愛いがることができなくなると思うと悲しいので、一生今のままから育たないでください。

中村　優希さん

（熊本県・熊本信愛女学院高等学校　16歳）



【贈りたい相手】

両親

【贈り主】

私

私は三人家族です。三の一画目は前へ突き進んで道を開いてくれる父、三画目はどっしりと後ろから私達を守ってくれる母、そして二画目はそんな父と母から狭まれて守られている私。いつも反抗してしまう今だからこそ三を大好きな両親へ贈ります。

バラヒル エライシャ さん

（東京都・東京都立一橋高等学校　18歳）

厚

【贈りたい相手】
おばあちゃん

【贈り主】
エライシャ

おばあちゃんがいつも朝ごはんに作ってくれたふわふわの分厚いパンケーキがたまに食べたくなります。もう何年も顔を見てないし、国境を越えないと会えないけれど、持ち前の笑顔で元気に過ごせていますように。会えた時にはパンケーキのレシピを教えてね。

焼山　美羽 さん

（千葉県・開智日本橋学園高等学校　17歳）

暖

【贈りたい相手】
家族

【贈り主】
十七の私

東日本大震災の日の夜。停電した家の中で食べたインスタントラーメンを覚えてますか。うつむく私の所にみんなが「生きよ」って麺を足して入れてくれた。冷たい水で作ったはずなのに、すごく暖かかった。心がホッとした。その時の感謝を込めて「暖」を贈るね。

大学生・一般部門受賞者

山平　妙子さん

（山口県・教員）

娘へ

母より

この漢字をあなたに贈ります。

夢

中学校英語教師になる志半ば、二十一歳の秋、交通事故で逝ってしまった貴女。

筆文字で色紙に書かれた夢を受け継ぎ、母さんは英語免許を取得し、今年から中学校に勤めているよ。思春期の生徒達との時を大切に、これからも貴女と共に生きていきたい。

受賞コメント

勤務先の学校の掲示板に「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」のポスターが貼ってありました。娘『妙華』と一緒に追いかけた夢が、今、実現できていることを知らせたいと思って応募しました。

受賞の連絡をいただき、本当にありがとうございます。

報告を受け、私の想いが届いたと感じました。

5年たった今でも、娘がいなくなってしまったという現実を乗り越えることはできません。でも、何もしないでいつまでも立ち止まっていたら、悲しみにおしつぶされてしまいます。それでは娘も悲しむと思うので、前を向いて進んでいこうと決め、いろいろなことにチャレンジしています。今回の応募もその一つでした。

これからも心の中の娘が笑顔でいられるように、娘と共に少しずつ歩んでいきます。

審査員からのコメント

”祝“大賞おめでとうございます。

将来の夢を、実現させるために色紙に書いた言の葉「中学校英語教師になる」。

運命とは何だろう、志半ばで天国へと旅立ってしまった。お腹を痛めて産んだ命。お母様のお気持ちを察すると胸が締め付けられる思いです。

しかし、お母様は、娘さんの書いた「夢」を「言の葉」を受け継ぐ決心をされ、自らが英語教師になりました。

日々、生徒達に教鞭を執る、お母様の眼差しは、娘さんの魂と一つになって、日本の将来を育てているのですね。

娘と母の魂のリレー、百年後、千年後に語り継ぎたい物語です。命（ゴルゴ松本）

見澤　富子さん

（埼玉県・主婦）

息子へ

母より

この漢字をあなたに贈ります。

謎

「成長しても小さくならないものは？」これは息子のなぞなぞ。結局その答えは謎のまま息子は四十歳に。しかし去年そんな彼が長年勤めた会社を辞め、医学部に入り直した。全ては小児がんの子供を救う為。成長しても小さくならないもの。それは夢だ。

受賞コメント

この度は日本漢字能力検定協会賞にお選び頂き、誠にありがとうございました。最初に受賞のご連絡を頂いた時は「まさか」という感じで大変驚きました。コロナ禍であまり良いニュースがなかった時に大変喜ばしい知らせとなりました。ここ最近は身体の不調に悩まされ、子ども達の活躍が生き甲斐となっています。そしていくつになっても夢を諦めない息子の姿には親としても感心しております。もちろん人それぞれ悩みやストレスを抱えているのも事実。しかし息子を見ていると私も頑張ろうと思えるのです。子どもから学ぶことは多いですね。これからも息子を応援しながら悔いの無い人生を歩みたいと思います。

審査員からのコメント

幼い頃の息子さんから出された「なぞなぞ」。お母さんは、答えがわからないまま、おそらく、そんな「なぞなぞ」も忘れていたことでしょう。

しかし、40歳になった息子さんから、会社勤めを辞め、小児がんの子供を救うために医学の道に進むと伝えられ、遠い記憶の「なぞなぞ」を思い出したのでしょう。

なぞなぞの答えは「夢」だとわかったお母さん。

仕事をこなしながら、夢をあきらめず努力し続けてきた息子さんも素晴らしいですが、こんな何気ない日常の遊びまで覚えていたお母さんの愛情深さに感銘を受けました。

息子さんが、りっぱなお医者さんになられることをお祈りいたします。（山崎信夫）

岩中　幹夫さん

（岡山県・公務員）

保健の先生へ

みき より

この漢字をあなたに贈ります。

輝

子供の頃、顔にある傷跡を気にしていた私に、保健の先生があるものを見せてくれました。それは、中にヒビが入った水晶で、日光にかざすとヒビの部分が綺麗に輝いて見えました。この傷を「輝き」に変えてくれた先生に、この漢字を贈りたいです。

受賞コメント

このたびは、輝かしい賞をいただき、誠にありがとうございます。

大人になって、あの日先生に見せてもらったような、中に傷の入った水晶を買いました。日光に透かして見ると、あの日の感動がよみがえります。

特に子供のときは、ちょっとした体験や小さな一言によって、その後の道が大きく左右されるものだと改めて思います。傷を輝きに変身させられる先生のような人が一人でも増えれば、もっとよい世の中になるのではないかと思います。

一生懸命生きていると、身体や心に傷を負っていくものですが、それを輝きに変えるような人生を送っていきたいものです。

この賞に関わられたすべての方の行く先に、輝きを。

審査員からのコメント

この地球には、素晴らしい先生が居てくれて、未来は安心出来ますね。

小さな子供の時に顔に大きな傷跡があると、周りにジロジロ見られて、原因を聞かれて、イジられたりして、とても辛い時を過ごされたのでしょうね。

そんな子供の表情を見逃さずにいた保健の先生は、素敵な凄く素晴らしい先生ですね。

そして水晶を使って傷ついた子供の心をちゃんと癒やしました、諭しました。心が健康を保ちましたね。さすが保健の先生!!中々出来る事ではないですよね！しかも、その傷を輝きに変えてしまうとは、まさにマジシャンです。ひとりの子供のそこからの未来まで変えた保健のマジシャン先生！ありがとうございます!!と言いたい。

きっとこの子は輝く目で大人になり、光を運ぶ輝きの伝道師になっていることでしょう！

地球が輝く星なのは、そこですね。命（ゴルゴ松本）

審査員賞

小松崎　潤さん

（東京都・会社員）

息子へ

父より

この漢字をあなたに贈ります。

交

ＡＤＨＤの息子は週に二回通常学級で過ごす。しかし授業中に教室を飛び出してしまい交流どころではない。しかしある時黒板の「交」の字を見るなり「パパがいる！この字、好き」と息子が言った。交流はなくても私たちの心は交わってる気がした。

受賞コメント

この度は審査員賞を授与していただき、誠にありがとうございます。大変光栄に思うと同時に身の引き締まる思いです。今回作品にしたのは息子の教室内での出来事です。人と比べてはならないと思っていながらも突拍子もない行動をする息子に正直ヤキモキしていました。しかしこの発言を機に「息子はちゃんと成長してるんだな。大丈夫だよな」という気持ちになりました。まだまだ道半ば。父親として試行錯誤しながら、息子のサポートをゆっくりゆっくりと続けていきたいと思います。この度は本当にありがとうございました。

審査員からのコメント

審査員賞、おめでとうございます。

日頃から漢字は感じる字だと思っています。見た瞬間に「パパがいる！」その通り「交」の中に「父」がいます。素晴らしい発見です。

子供は毎日が冒険みたいなところがあり、日々、たくさんのモノ、コト、ヒトに出会います。その中から自分に必要な物事を拾って成長していきます。息子さんのその感性は、とても素敵です。

これからも、「パパのいる」学校で他の子供達と交流、交差しながら、成長、成功していって欲しいです。常にパパが側にいるから効果があるはずです。「交」の字には調和するという意味があります。

パパがんば!!命（ゴルゴ松本）

佐藤　美海さん

（埼玉県・教員）

22:28のお客様へ

しがないバイトより

この漢字をあなたに贈ります。

粋

バイト先のカフェで閉店間際によく現れる常連さん。一人でいるのにあの日頼んだのは二つのチーズケーキ。不思議そうにフォークを二つ置いた私に、「いつもお疲れ様」と一つ差し出してくれましたね。粋な計らいとは何か知った大学三年の秋でした。ありがとう。

受賞コメント

「漢字に親しむ機会になれば」と、生徒と取り組んだコンテスト。まさか賞をいただけるとは夢にも思わず、受賞の知らせを聞いた時は大学時代の追憶とともにこそばゆい気持ちでいっぱいになりました。ささやかながらも大切にしていた思い出を、このような形で日の当たる場所に出していただき至極光栄です。

わたしが現在受け持つ生徒たちは漢字に苦手意識を持っている子が多く、少しでも興味が持てるような取組を模索していました。そのような中で、生徒たちがそれぞれに思いを馳せながら自分の気持ちに合った漢字を探す様子はほほえましく、また感慨深いものでした。この経験をきっかけに、より一層言葉の楽しさや奥深さを伝えていけるよう指導にあたりたいと思います。ありがとうございました。

審査員からのコメント

粋とは、色気を持った、心意気のことです。

これは、大人が若者に教える生き方の一つだと思います。大人が日々どう生きてるか、どう息を呼吸をしているか、その方も若い時その時代の大人達に教えてもらったことでしょう。

息抜きに立ち寄るカフェで一生懸命バイトに励む学生のあなたに、思わず粋な計らいをしたくなったのでしょうね。

多分それは、未来に教師になったあなたが、若い人達に、日本人の、心意気の一つ「粋」を伝える人になって欲しいから、ご縁があったのでしょう。

「いつも、お疲れ様」神様は見てるんだ。命（ゴルゴ松本）

井上 浩子さん
（山口県・主婦）

【贈りたい相手】
娘

【贈り主】
母

航海士三年目、圧倒的な男性社会の中で日々壁にぶち当たり己の不甲斐なさに打ちのめされ、今にも沈没寸前の我が娘。それでも自ら選んだ道を少しずつ進んで行こうと努力を続ける娘。そんな貴女が必要な時にいつでも一息つける港でありたいと母は思っています。

今北 亜希子さん
（兵庫県）

【贈りたい相手】
小学一年生の息子

【贈り主】
母

あなたが初めて書いた漢字の文は、「お火あさん、おたんじょうびおめでと」だったね。私が間違いを指摘すると、「あったかくてあかるい『火』が、おかあさんの漢字じゃないの？」ってあなたは言った。あたたかく包まれた気持ち、お返しするね。

小串 真紀子さん
（愛知県・自営業）

【贈りたい相手】
息子

【贈り主】
母

小学生で50メートル走のタイムを越され、中学生で身長を越され、高校で学力を越され、大学生では、ほぼ全ての分野で越されてしまった気がします。でも、年だけは越せないよね。頑張って長生きします。そして母の寿命をも越す長生きをしてね。

中井　朗さん
（福岡県・教員）

【贈りたい相手】
母

【贈り主】
息子

お酒の飲み過ぎで入院することになった母。「肴」には「宴会を楽しいものにするための話題」という意味がある。夢だった教員になったこと、愛する人に出逢えたこと。話したいことは山ほどある。退院したら、お酒ではなく俺の話に酔わしちゃるけん覚悟してよ。

中川　祥さん
（滋賀県・教員）

【贈りたい相手】
妻

【贈り主】
夫

小学校の入学式。教室の前から二番目、隣の席のあなたに幼いながら心を惹かれました。隣で笑ってくれる給食の時間が大好きでした。あれからちょうど二十年。今あなたは隣でテレビを観ながら一緒に笑っています。これからもずっと僕の隣に居て下さいね。

中村　聖さん
（福岡県・教員）

【贈りたい相手】
教室にいるみんな

【贈り主】
先生

あの春。教室という空間はこんなにも静かでひんやりしたものなのかと、誰もいない教室に向かい、返ってこないとか分かっていながら毎日話しかけた。そして今。制限だらけだとしても目の前にはマスクをした笑顔はじける生徒達の姿。息を吹き返した、教室の鼓動。

松田 弘恵さん
（岩手県・教員）

【贈りたい相手】
康雄さん

【贈り主】
妻

長男はデザインを、次男は音楽を、そして三男は芸術の道へ。「パパ、何だか私の想いとは裏腹に我が道を進んでいく子供達ですよ。どうか体だけは気を付けてくれるよう貴方の『康』で息子達を天から見守ってやって下さいね。それが貴方の責任ですよ。」お墓参りにて。

峯田 泰彦さん
（東京都）

【贈りたい相手】
後輩

【贈り主】
先輩

高齢者になった君へ、先輩たる私の助言。「亭主元気で留守がいい」とは真理である。故に全てを堪え忍び、家では己の気配を消しなさい。妻に「アラ居たの？」と言われる前に外出し、言われる先に風呂場を洗い、「未だ居たの？」と、言われぬ内に逝きなさい。

村形 舞香さん
（宮城県・教員）

【贈りたい相手】
両親

【贈り主】
娘

人への気遣いや挨拶の大切さなど、生きる上で大事なことを辛口で、口酸っぱく教えてくれた母。そんな母と喧嘩して泣いていた私の言い分をこっそり聞いてくれた甘口の父。ああ、だから幸せ太りをしたのだと、大人になった今気付き、この味を噛み締めています。

吉野　百音さん

（北海道・教員）

【贈りたい相手】

教頭先生

【贈り主】

九年前の中学三年生

「将来同じ職場で働こう。」という言葉は気が付けば九年前のものになっていました。八年と十ヶ月前、黒いリボンのついた写真の前で私はその言葉を一生忘れまいと誓いました。同じ職場という夢は叶わずとも、九年後の私は同じ職に就き、夢の続きを創っています。

コンテストは広がりを見せ、「学校教育」にも採用

“誰かに贈る漢字を選ぶ”その時間は、
漢字そのものの奥深さに触れられるとともに、
自分の大切な人との関係を見つめ直し、
自分自身と向き合うことにもつながります。
その点が高く評価され、
学校教育の題材として取り上げられるようになりました。

今後、「大切な人へ漢字を贈る」ということが、
私たちにとってより身近な習慣になる日も
近いかもしれません。

●「どうとく３　きみが いちばん ひかるとき」（光村図書）

応募要項

応募期間　2022年6月1日（水）～2022年9月22日（木）必着

発　表　2023年1月下旬（予定）
受賞作品は、応募者氏名などとともにコンテストサイト等にて発表する予定です。

応募テーマ　「贈りたい漢字とメッセージ（※120字以内）」
あなたが伝えたい気持ちを表す漢字（一文字）とメッセージをお寄せください。

応募部門　①小学生部門　②中学生部門　③高校生部門　④大学生・一般部門

応募方法

■団体での応募　応募者全員分の応募用紙をまとめ、「団体名」「団体担当者氏名」「住所・電話番号（会場番号）」「応募枚数」を添えて下記応募先へ郵送してください。応募用紙はコンテストサイトにあります。参加人数分をコピーしてお使いください。

■個人での応募　【Web】コンテストサイト（下記URL）にある応募フォームを利用してください。
【郵送】所定の応募用紙、もしくはコンテストサイトよりダウンロードした応募用紙を利用して、下記応募先へ郵送してください。また、応募用紙取得が困難な方は、必要事項記載のうえハガキでの応募も可能です。

応募の際の注意事項
・メッセージは120字以内に限ります。これを超える応募作品につきましては審査対象外となります。
・応募いただいた作品は返却できません。

応 募 先

■団体での応募　〒605-0074　京都市東山区祇園町南側551番地
（公財）日本漢字能力検定協会　「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」係
※コンテストサイトにある「団体応募用返信ラベル」をご利用ください。切手不要でそのまま投函いただけます。
■個人での応募　URL　https://www.kanken.or.jp/kanjicontest2022/

審　査　主催者および審査員が、本コンテストの開催趣旨に照らし総合的に審査します。
受賞者・受賞団体には審査後に受賞の内定を通知いたします。二次審査通過者のお名前・団体名を2022年11月ごろコンテストサイトにて発表いたします。

審査員（2021年度）
審査員長　橋本五郎（読売新聞特別編集委員）
審査員　ゴルゴ松本（お笑い芸人）　やすみりえ（川柳作家）　華雪（書家）　山崎信夫（日本漢字能力検定協会 代表理事）

表　彰

絆大賞（各部門1点）	賞状・副賞（5万円相当）
日本漢字能力検定協会賞（各部門1点）	賞状・副賞（3万円相当）
審査員賞（各部門3点）	賞状・副賞（1万円相当）
佳作（各部門10点）	賞状・副賞（5千円相当）
団体賞（全4団体）	賞状

表 彰 式　2023年3月（予定）

表彰式会場　漢検 漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）

第1回から第8回までの過去の受賞作品は、コンテストサイトからご覧になれます。
また、各回の受賞作品集もご自由にダウンロードできます。

漢検　漢字コンテスト　受賞作品　検索

第10回記念 審査員による座談会をコンテストサイトで公開中！

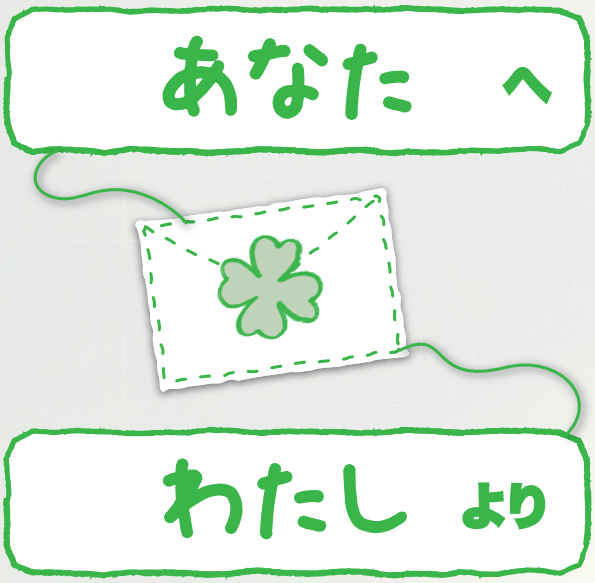
「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」
2021 年度　受賞作品集

2022 年　5 月 1 日　第 1 版第 1 刷発行

編　者　公益財団法人 日本漢字能力検定協会
発行者　山崎 信夫
印刷所　大日本印刷株式会社
発行所　公益財団法人 日本漢字能力検定協会
（住所）〒 605 － 0074
京都市東山区祇園町南側 551 番地
（TEL）075 － 757 － 8600
（FAX）075 － 532 － 1110
（ホームページ URL）https://www.kanken.or.jp

乱丁・落丁本はお取り替えいたします。
「漢検」は登録商標です。

本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。



今、あなたに贈りたい漢字コンテスト

2021年度

受賞作品集

「漢検」は登録商標です。